

廣益地錦抄

六

卷之六

藥系るん

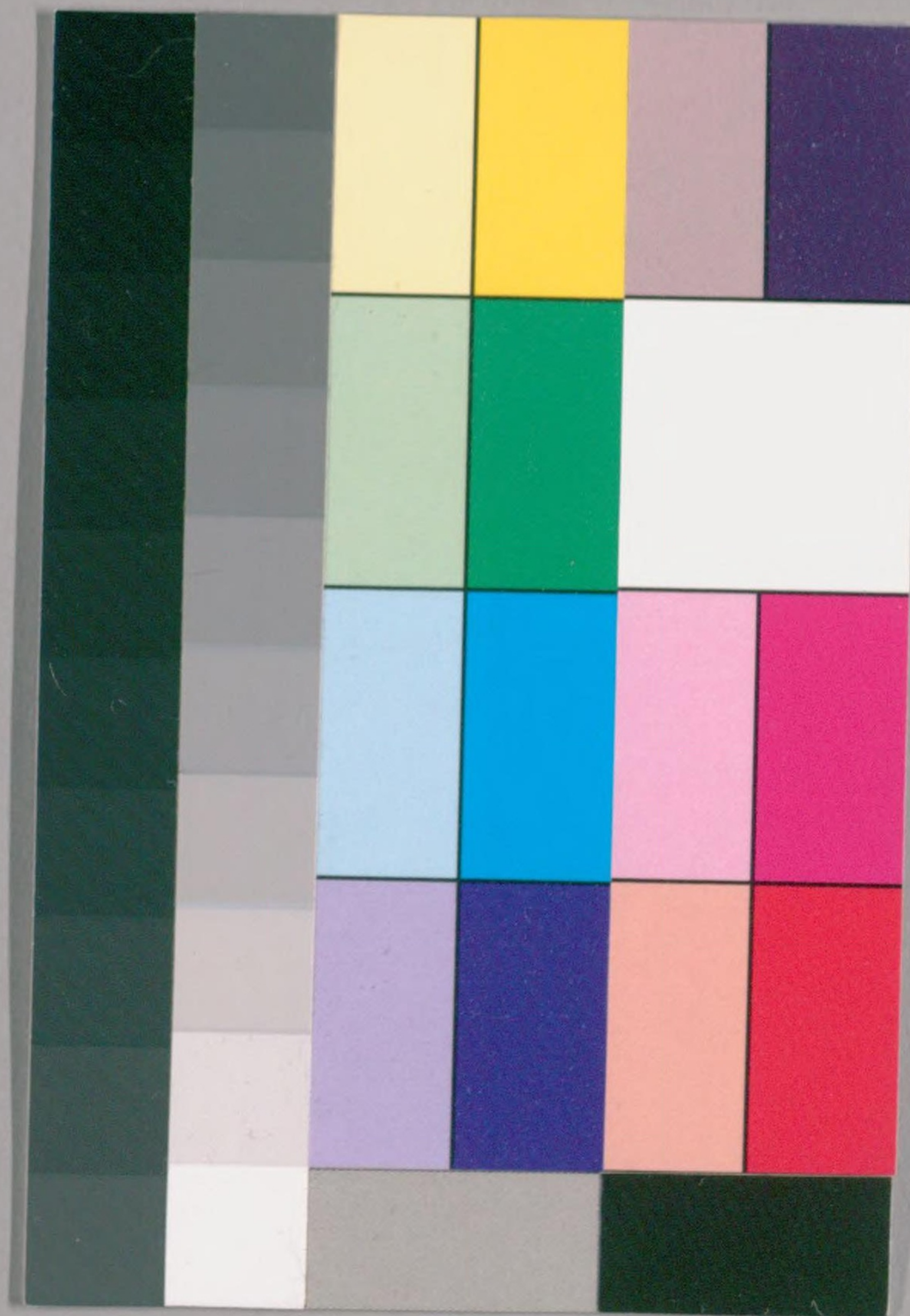
二十四種

花形圖并

色付

851

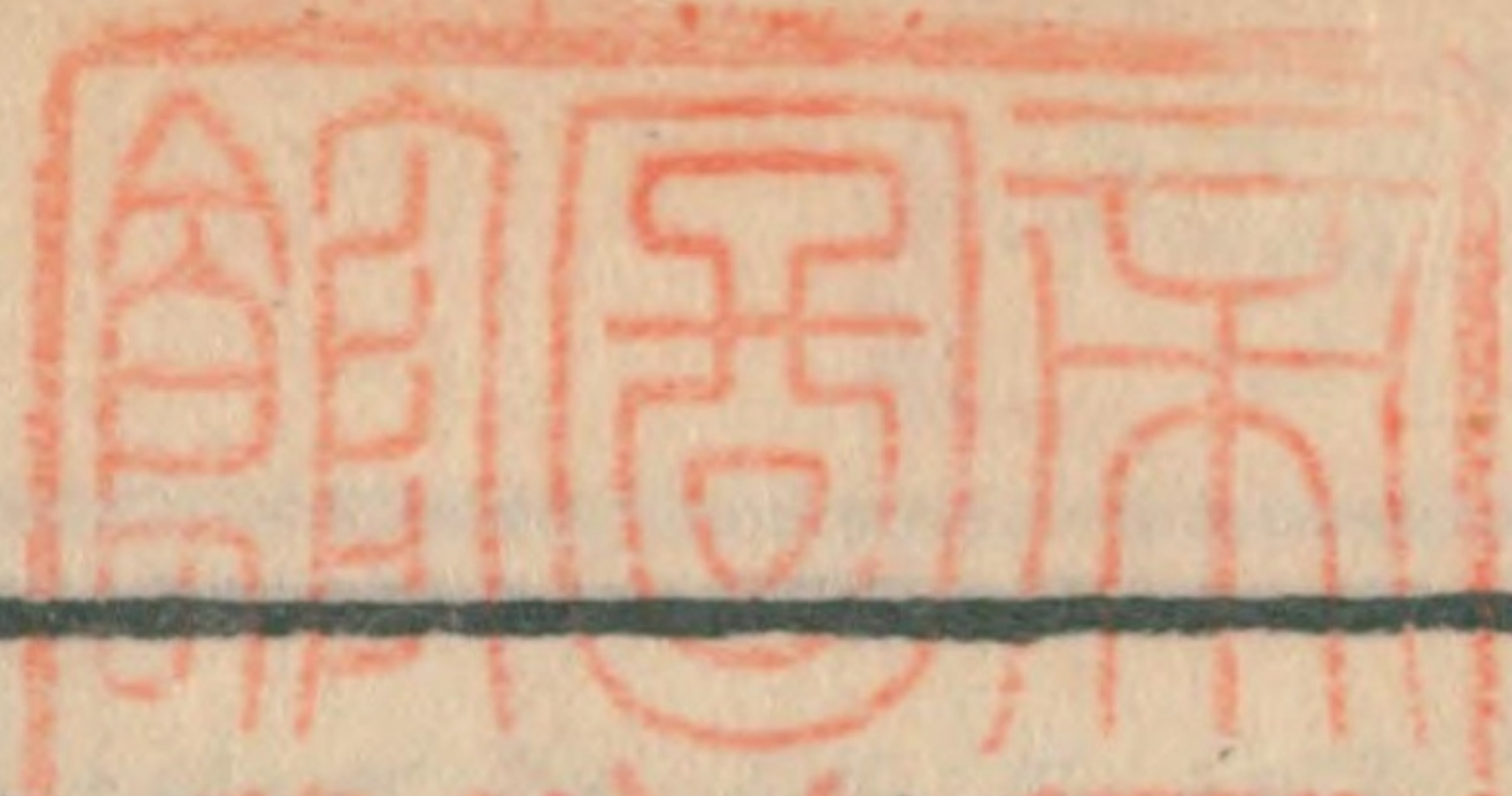
5



24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48

国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



廣益地錦抄卷之六

目錄

王不留行ワウフルキマウ
 防風ボウフウ 二種
 野薄荷ノハツカ
 紫草シソ
 白朮ハクジツ
 黃犯地丁ワウクハチチン
 胡蘆コロハ
 胡蘆コロハ
 荊芥ケイサイ
 百脈根ヒヤクマクネ
 牛蒡ウズ
 返魂草ヘンコンサウ
 鬼滅草キメツサウ
 知母チモ
 玄參ゲンサン
 毛茛モウリョウ
 扁特ヘンテツ
 藜蘆レイロ
 東風菜トウフウサイ
 及巳キツイ
 鱧腸レイチヤウ
 川芎センキウ
 薄荷ハツカ
 羅勒ラロク
 紫苑シエン

本草三十三種

吉田待郎氏 寄贈本



六ノ一



851
5

蓮翹單蓮
龍葵
菘藍

紫萼
龍珠

石龍芮
薏苡仁

毛蓮菜
芍藥子

王不留行

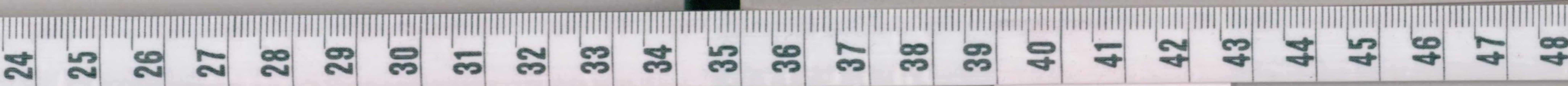
二月の終と終
三月の初と初

胡蘆巴

二月の終と終
三月の初と初

四月の初と初
五月の初と初
六月の初と初
七月の初と初
八月の初と初
九月の初と初
十月の初と初
十一月の初と初
十二月の初と初

二月の終と終
三月の初と初
四月の初と初
五月の初と初
六月の初と初
七月の初と初
八月の初と初
九月の初と初
十月の初と初
十一月の初と初
十二月の初と初



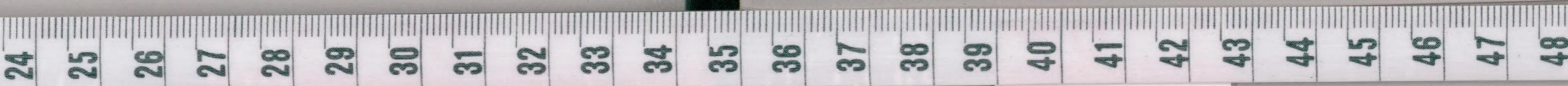
あり八九月ふまゝ冬
乃うら苗ふりて
月ふかふ又月枯る
和母 宿根よりまき生
此女あざやふまゝく
あうめろ花形穂の
こくにあぐくのび立
花乃ちうとと葉は
月ふさく又六七月の
ころつゆとあつても九
月まゝく花ふたふら

中白うへへ
川芎 宿根よりまき生
葉切進こまき
葉うらのび後乃と
秋白花さく時珍の胡
荽よりぬらりとひか
く胡荽より葉あ
けく大葉葉ふり
あくく葉乃ち葉
ありて一葉うゆる
をくうゆる不び風
すは内色か

ゆへを景う程高
備りぬそのゆへ
禹湯が葉進乃とく
とよを形状あつと
ひ草人乃よふあ
とさうふあめく葉と
かづまはゆりく種
このそりなふら
新母うへていふは

荊芥 葉をそま切
まうらふら

葉物よまみあら
ふくく植てかめ
防風 葉何物とあり
まよる葉にゆふ
切とあると葉り
ありとひ葉の切
ありとてひまん
葉此葉乃とくある
と葉防風といふ
又葉乃切込あり
整けうたふあま



あひくしき草花あめ
あり花を思ふふいふ
し林実とむよぶ丸
多く二月前へし一
葉よそ根へ冬枯る

玄参

宿根よりまき生
葉形ゆをかく

お射ふ付茎方あり
花ハ煙乃ぶくくあ
葉ふじくさた七ハ
月射らく茎とむく
さたふすありあ

漢防風といふ中より
いづれと花を来枯
まてさく白し花を
かり付ッその多く
二月前花煙み枯と
かりあり

薄荷

宿根よりまき生
又さしゆと荷て

らくく出くくく
花葉形を藿香より
ゆくお射ふ付葉の
まつりありくく

又一株五種状同くして
花乃久うと葉をす
あり茎をまき

百脉根

葉ハ萩乃りこ
ら極くくらひく

まき付えごまき地は
しく花形さくげの花
のぶくくうん久
く付田又月ふく
葉とありくく
まきも実ハさくけのみ
くありて一葉二花

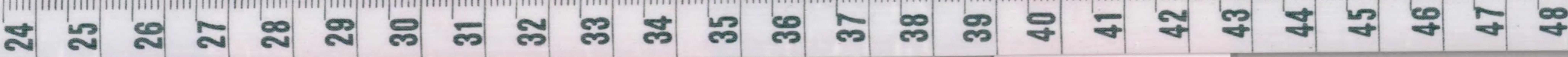
あり葉の厚くあり
枝多くあり葉葉小
花さくくすくく小
細くふありは葉
茎よ香葉をさしつ
まき切まき香葉とこ
は家又お射ふ付葉
りをめぐくしてなるに
葉乃りまきまき香
葉あり宿根よりまき
生ハ片葉をみせるま
まきゆくくや香気

付を悉く蕪乃乃道
此より少多生れ同
野色漢茅王子色道
即の中又ハ道のり
小多生れ花さうの
ハ初人乃のりとら
何とかがありの
生又種と有て
毛をり草花の名
草たさこ草と
羅勒 毛種とすく尺
にこめ草こ

毛草 毛草ハ花ひと
又実と人ともく
毛草ハ花ひと
又実と人ともく
毛草ハ花ひと
又実と人ともく
毛草ハ花ひと
又実と人ともく

草花取枝ありを
さうりしれ草小
又月をかすく花形
乃おとく一年草
冬を枯る二月移
前二葉ふくむより
葉をり花ありて
葉乃りわりの草
花小名と葉香と
葉草とも云実と
葉草とて扱て小
眼同本物の入り

花此より二月
花壇より名と
あり草花の名
花とていせん
毛草ハ花ひと
又実と人ともく
毛草ハ花ひと
又実と人ともく
毛草ハ花ひと
又実と人ともく



は実と入目乃ごと
妙と云りて目此業
すりとは信目帝
ともいふ小葉よそあ
らしく新より入て
登り度あり種てあ
ま香せり

牛扁

岩根よりまき生
道色重くふ多
あり信よきしらまら
た又ひん乃せうこた
七八月よ花さく花を

梅

はう色危み植てあが
あり根を根葉あり
信よ新しうたう
い根の夜の深ゆ
て又い此業深とある
ぞぞ

扁特

牛扁の花
岩根よりまき生
葉よ切色多のくま
あり花新梅乃ど
くすれへ葉花よ名と
梅花草とも梅が葉

梅乃花のどく小ア
うと向くさうあり
葉を石新苗ふあり
本単小知葉花とひ
くとは扁特より入

業苑

岩根よりまき生
葉大く枇杷
乃葉のよくやくま
初生地よ岩中より
直く六七尺までの
花ひらうた文ひく
おびく多く知て

葉よま六七月ひ
くうすひうた色也
花中ふこひうた乃
物ありとふふひく
走すり花煙より入
うーありりー花
すり

白苑

岩根よりまき生
葉まよとんり
うたひくよとふひ
し初生地よ岩中
て又六尺迄よのび

かろ免ありの花壇ふ極
る

返魂草

宿根よりまき生
葉は文のふ切也
此草は葉に黒くまき
草のむくくまわつくあ
わへんむと茎六七尺のび直
まどん乃形物^{ギョウワ}は作り七尺
月ふくれひうくまどんが
少くも一む黄色まき菊
れくく又出^{シヨウ}ありのまどんの
まのさくあひまどん一本

葛

まきまどん乃ふくくふ
て白くまどんと同付
に印くく草之植て
あがあまの又一種小ま
まんとまきありの花極て
小まん白くまきまき花
みまどんれまどん小
まきまの二尺むらりのび
まき花壇よりうへてまか
らく宿根よりまき生
葛^{クワ} 宿根よりまきまき
柳乃まどん花ハ見

葛

草釋名に返魂草あり
同集解小葉花 白花も
大明が黄白葉花とひ
くといへり花黄色あれ
むい草

及色

宿根よりまきま
草まの三四寸ふ
せ物く白花むのむく
にまべまのり咲葉花ふ
まゆまのさうとくま花
りてはより葉ある二
茎小葉まきまき

る小まのり倍小を柳
せり小田中乃まきま
ま氏倍病疾と極
附はまきと湯ひま味
汁は煮くま晒の粉と
移り園子まきま考
食甚妙あり

黄地丁

花黄色極
み花乃く
六七月はひまき切
まきまのり若草乃ま
くくまきま茎中室

らふありて実ハ葉のり
よりハハさざりて付る
又一種より取叶同し
率にそまこ二尺程
小のび立ちより二四寸余
草をろろあひのしく
にうゑてかゝある三月
み花さく根ハ細辛乃
びとくにりそく番
あり

鬼鍼草

花黄色八月
さく葉に切

東風菜

宿根より長
生花黄色菊

二三尺みのび立ち
は花多くさく葉は
より枝おほくわく花
さく花をわけて色
とそり風ふとびらる
白毛とそりて極
四月後あひてさる葉
とほと切さへ白け
田跡ふ多く生れ冬
葉を去れとま

み棟の木に葉ふはり
花を葉も名とらり
あつしくかゝああり
葉花乃後実をそ
四方へまわれ汁のそく
汁乃末二ツふまれて
液のぼとく人衣丸
汁汁ととりて去桂
りく生え

體腸

二月苗とせら田
の乃溼地より多
生か葉をそかく柳

此とくそひと人葉
乃えひはく末をそ
苗の時白毛おほく
と被るがとくのび
て起ハ葉れらくふ
葉表をまきく毛
花凋くわとん又白
毛とけり若葉はれ
乃おとく風ふとび
二月末に花ひくく
てかうあま溼地と
むす花葉乃中れ

此の如く西村の付葉の
 ありり枝多くつる七
 八月花さく白小つん菊
 了り似く実ハ蓮房の
 ひとくし本草のつら
 ごとく枝くつるつる
 した盛つるも久しつる
 一花葉も早蓮葉
 葉エ萼ノ宿根ありまき
 溼地よまきつる
 溝乃つらつらに多く生

かくせるも廿二人なり
 了り花多く付葉花小
 名と沢車といふつる葉
 乃附葉陽引て食す
 蓮翹旱蓮先づらんせん 體腸の取葉
 あり葉葉を
 系地轉揚ふ似く葉に
 切極る三月ふ生る七八
 月花さく花枝轉揚の
 ありくありく葉色実ハ
 蓮房小似つる田乃道
 溼地よまきつる花壇

葉ハさつらつらしつら
 した花車前葉小似り
 六七月ふかさく花枝
 ざつらつらつらつら
 此花ぶつらつらつら
 乃色さつらつらつら
 けつらつらつらつら
 枝五花壇つらつら
 あひさつらつらつら
 うらつらつらつらつら
 系とつらつらつら
 西村小飢と救ふ

了りつらつらつらつら
 付つらつらつらつら
 石龍芮 宿根ありまき
 生家系ハ毛
 甚小似つらつらつら
 おけつらつらつらつら
 四月小つらつらつら
 乃令風花乃つらつら
 ありつらつらつらつら
 毛蓮葉 宿根ありまき
 生る葉葉車
 乃やつらつらつらつら



胡蘆巴
ころし



王不留行
まじゅう



川芎
せんきう



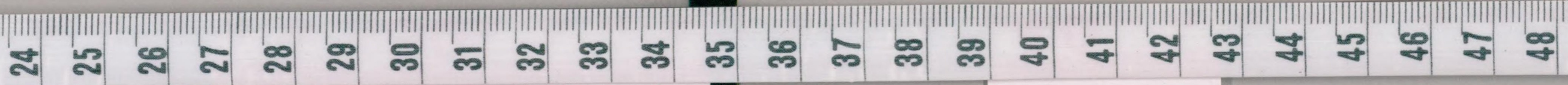
知母
ちも



六十一

国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用





こがらび
失防風



防風
こがらび

国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



玄参 げんざん



荆芥 けいがい



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

野の
薄荷



薄荷
の



毛茛
ひんげん



百脉根
ひんげん

百脉根
ひんげん



六十五

六十四

紫草



羅勒



高尾特



牛蒡ごうりょう





白苑



紫苑



及巳

大ノ圖
多し三尺余

小ノ圖
多し四寸分

花の湯
花の付葉
可く花
乃ほ葉
也



返魂草

黄^{ワウ}花^コ地^チ丁^{テイ}



葛^カ薯^コ





東風菜
とうふうさい

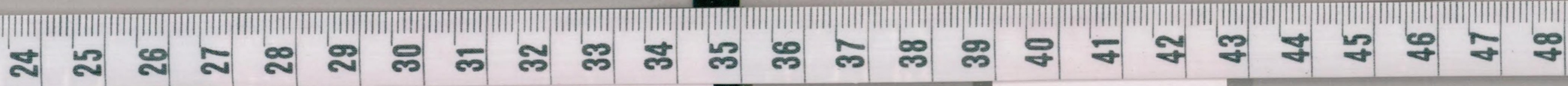


鬼針草
おにばら

蓮翹早蓮
きんげんきんせん



鱧腸
まのろろ



又一種
龍葵 いぬやしき



龍葵 いぬやしき



紗株



毛蓮菜



野雞のけいこ頭



青箱せいさう子





紫萼 むらさき



意 い

柔 な

六ノ九五



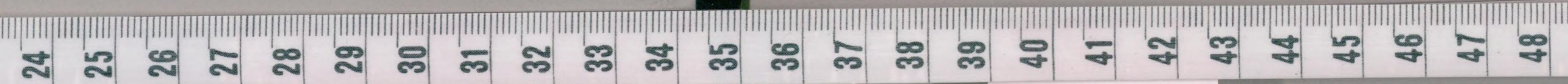
藜蘆 ころ

八廿



石鈔 たぐし

ナナナ



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

龍葵

二月は生葉
のかしら茄子

一、似くらひさし葉
乃迄ましく白花又出
黄蕊多り丸く実
とじとぶ一所小八九粒
不とづ付く実の又
ましくほみぢぢくして
黒し枝おろく出葉志
かり葉れりまより下
へさぐ家
○又一種葉太ましく実

薺苢仁

葉より葉取
とも小葉を食

葉ましく葉乃中
ゆふとくゆふりく
けりさた又まより一
莖よ一とびつてあり
七月の比中より一
尺ほど小葉さらの
びとく黄蕊とひくく
菊乃ぶとくおがめ
田中乃まみ多し生花
煙より種てまきとべ

龍珠

二月苗生葉直
葉取ともは葉

乃類草まの实丸く
初ましく後ましくして

色やうづき乃からいさ
きやとましくかまび乃
くららぬあり実の色
ましく実小汁のすぢ
地おろく出る色色倍
り小かまびとり小
種とり小所く道乃直
みぢかく生

青箱子

二月種と前草
直苗取雞取

らぐひわし他さか雅
のぶとくはとがりのく
百ふ一つとひくま

みぬさりのま実とら
ゆふ六七月乃比又六
尺のびくら花さく
大葉れぶとくある実
とじとぶ九月まぢぢく
とちりてすのこぢ
粉とくして食ス

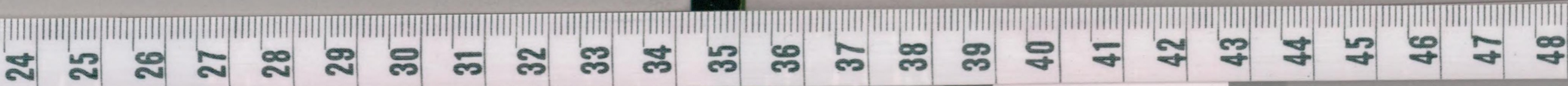
赤く愛とく一葉
 おほくさざりて種葵
 此とく信ふひよとり
 トやうごといひの非也
 ひよとりとやうごを
 蔓草カヅラ赤く白英と
 形り実乃くころを
 にもく似るゆいのみ
 べし花煙みうへくか
 があし
 菘菜アブラナ蓋
 宿根アブラナの葉
 紫の葉菜白

花かし花さかたり
 下ハうと白くさる
 葉紅也すり実もけ
 いどうに同一花さく
 へはと何時あり時
 が苗葉花実雜アブラナと
 一松を別花種とわ
 又す取鬼尾乃く
 さいをりいあへり
 花煙み極くあが
 せの。又一種信よ野
 雜アブラナといひ把田跡

葉小似るれ七日光
 葉といひ日光山小に
 ありあさうし花の
 紫を小也あく花取
 ち葉種の丁子アブラナの
 とく種とあてあひ
 されさく六七月初
 く花煙りう煙か
 がああり根元去中
 ちり志西ろれ度乃
 びくすれ毛減り
 かりてさるそのひ

おりくおりの葉とけ
 いとうに似く少異
 あり花白く少なる
 い海河をてはま
 おといひるうま
 花すれをあり花煙
 けう煙く愛とく
 七八月をわさく花
 とけいとうとちか
 りてさるめさるり
 本葉に上紅下白と
 あり花乃まわりを

六ノ七九也





国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用